

長野県伊那谷南部における カマキリ類数種の記録

四方圭一郎・下平洋子

長野県内に生息するカマキリ類は、小林 (1991) によると、オオカマキリ、カマキリ (チョウセンカマキリ)、コカマキリ、ヒメカマキリ、ウスバカマキリの5種であるという。筆者らは、新たにハラビロカマキリの生息を確認したので報告する。またヒメカマキリとチョウセンカマキリについても、分布情報として記録しておく。

ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*

1 卵鞘、飯田市川路 (標高470m), 27.Feb.2005, 井原道夫採集, 飯田市美術博物館保管 (図2)。

1 ♀, 飯田市時又 (標高400m), 13.Oct.2005, 下平撮影 (図1)。ナンテンの幹に産卵していた個体。すぐそばで別卵鞘および別個体を複数目撃。

1 ex., (死骸)。飯田市川路 (標高380m), 23.Oct.2005, 四方採集。



図1 ハラビロカマキリと卵鞘

ヒメカマキリ *Acromantis japonica*

1ex., 天龍村為栗 (標高320m), 11.Sep. 1996 : 1ex., 天龍村満島, 7.Nov.1999. 共に四方採集, 飯田市美術博物館保管。

4exs., 天龍村松島 (標高500m), 8.Sep.2002 : 1ex., 天龍村平岡ダム (標高300m), 同日 : 1ex., 飯田市下瀬 (標高440m), 同日. すべて四方目撃。

ライトトラップおよび常設燈火に飛来していた個体。本種の長野県内での分布は、天龍村以南とされているが (小林, 1991), 飯田市まで分布していることが確認できた。データは無いが飯田市天竜峡でも目撃している。飯田市付近で見かけることは少ないが、天龍村では、9月頃にライトトラップによく飛来する。

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis*

1 卵鞘, 飯田市川路天竜川河川敷 (標高370m), 11. Dec.2004, . 四方圭一郎採集, 飯田市美術博物館保管 (図3)。

天竜川総合学習館前の河川敷で、低木に生み付けられていた卵塊を発見し採集した。この卵鞘には、カツオブシムシの一種の幼虫 (おそらくカマキリタマゴカツオブシムシ) が寄生していた。

引用文献

小林正明, 1991, カマキリ. 長野県自然教育研究会編「長野県自然観察事典」, 101-103. 長野県自然教育研究会。

(しかた けいいちろう/飯田市美術博物館)

(しもだいら ひろこ/長野県飯田市時又421)

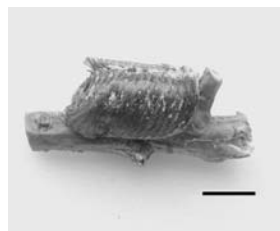


図2
ハラビロカマキリ卵鞘
(スケールは10mm)

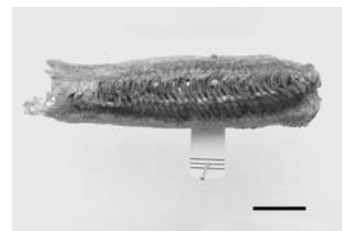


図3
チョウセンカマキリ卵鞘
(スケールは10mm)